# 科学技術会議ライフサイエンス部会ゲノム科学委員会 「ゲノム情報科学におけるわが国の戦略について(平成12年11月)」 (要約)

目標:バイオインフォマティクス (バイオのための情報科学および情報論的解 釈に基づく生命科学)の推進

#### 方策

## 〇人材養成

・即戦力の養成

研修プログラム開発、研修機会・インセンティブ提供、外国人の登用 専門学校活用と国家資格設定

- ・研究交流、試行錯誤の「場」としての拠点形成 大型計算機の利用環境の提供、異分野の若手研究者の交流、習熟度に 応じた体系的研修プログラムやセミナー
- ・大学等における中長期的視点に立った人材の育成 教育研究組織(学科や専攻、教育センター等)の整備

### 〇データベース構築

- ・国家レベルでの有識者会議による戦略立案 生物医学の基盤として不可欠の情報に対応したデータベースの支援 永続的な予算措置 データの格納方式や利用者インタフェースの統一化、標準化 既存大学等の活用
- ・戦略の検討、実施を支える組織の設置 世界的動向調査、計画作り、細部にわたる評価(予算措置への競争原 理導入)
- 留意事項

データの公開、データ産出プロジェクトや機関との連携、統合化データベースの重要性、計測装置との連携、研究との連携、教育機関との連携

# 〇情報解析技術開発

- ・情報解析技術開発の在り方等に関する戦略を検討する体制の整備 競争原理と評価体制の導入
  - ・国家的な支援を要する分野 生命科学のための高速アルゴリズムや高速コンピューターの研究開 発

画期的な情報解析技術の研究開発

例:数百生物種規模のゲノム配列比較技術、大規模な遺伝子タンパク質系のシミュレーション技術、大規模のタンパク質の分子動力学計算